

H30年度 納付金等仮算定の前提条件

《納付金試算の前提条件》

α の値	β の値	配分方式	均等：平等
$\alpha = 1$	$\beta = \text{標準}$	3方式	7：3

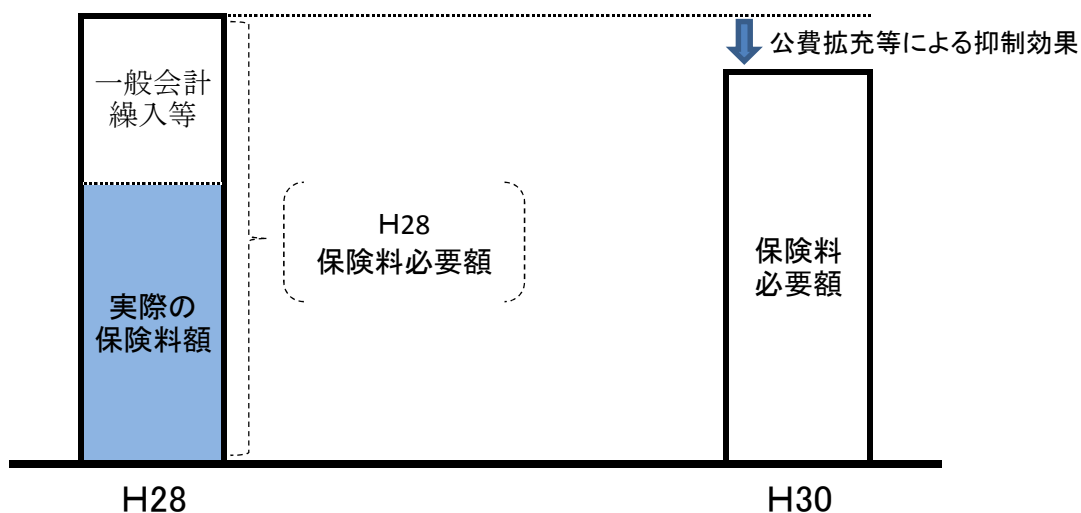
《保険料必要額試算の前提条件》

- 1 平成30年度の保険料必要額（本来、保険料で集めるべき額）を試算
- 2 市町ごとの年齢調整後の医療費水準、所得水準等を反映
- 3 平成30年度に予定されている1,700億円の公費拡充のうち、現時点で国から配分額が示されている1,500億円分を反映
- 4 決算補填目的の一般会計からの法定外繰入等を行っていない前提
- 5 保険料水準が1年当たり2%を超えて増加する市町に対しては、超過部分を減額する激変緩和措置を実施

○実際の保険料額との差異

実際の保険料額は、市町の一般会計繰入等により減額している場合があるため、保険料必要額よりも低い水準にある。

《イメージ》



《標準保険料率の設定条件》

β の値	賦課方式	均等：平等
$\beta = \text{標準}$	3方式	7：3

H30年度 納付金等の仮算定結果

	H30納付金 (激変緩和なし)		H30保険料必要額			
	(d) 納付金総額 (千円)	1人当たり 納付金額 (円)	(激変緩和なし)		(激変緩和 2%)	
			(e) 保険料 必要総額 (千円)	1人当たり 保険料 必要額 (円)	(e) 保険料 必要総額 (千円)	1人当たり 保険料 必要額 (円)
松山市	12,430,686	132,876	9,673,307	89,250	9,638,051	88,924
今治市	4,670,864	140,861	3,641,543	91,253	3,628,867	90,935
宇和島市	2,527,077	128,668	2,028,997	87,216	2,022,291	86,928
八幡浜市	1,303,298	155,143	1,020,011	104,285	1,016,560	103,932
新居浜市	2,874,915	133,505	2,361,095	94,398	2,352,796	94,067
西条市	2,949,264	136,819	2,341,369	93,828	2,333,018	93,493
大洲市	1,280,709	138,431	961,704	90,924	958,250	90,597
伊予市	1,069,612	137,374	895,367	99,320	821,701	91,148
四国中央市	2,128,825	146,379	1,712,346	99,740	1,706,168	99,380
西予市	1,157,504	127,045	915,610	85,924	912,426	85,625
東温市	798,172	132,174	654,295	93,444	651,974	93,113
上島町	274,041	160,574	238,839	122,671	187,433	96,268
久万高原町	257,970	130,582	225,993	99,998	225,222	99,656
松前町	793,730	140,123	657,422	100,523	612,478	93,651
砥部町	576,175	126,983	477,478	90,039	465,175	87,719
内子町	465,023	121,514	371,963	82,897	370,628	82,600
伊方町	391,956	144,577	321,171	105,060	317,146	103,744
鬼北町	311,964	125,800	252,421	88,105	251,602	87,819
松野町	123,363	127,511	93,718	79,489	93,381	79,203
愛南町	749,799	121,037	604,759	84,546	602,753	84,265
県全体	37,134,949	135,259	29,449,408	91,883	29,167,920	91,005

➔

市町の独自経費を加算

- ・保健事業
- ・出産育児諸費
- ・葬祭諸費 等

市町の直接収入を減算

- ・安定化支援事業
(地財措置)
- ・基盤安定繰入金
(支援分)
- ・保険者努力支援制度 等

保険料の激変緩和措置について

平成30年度においては、追加公費が投入（1,700億円）されるため、平成29年度から平成30年度にかけての保険料の伸びは抑制・軽減されることとなる。

ただし、これまでは、市町村の医療費や前期高齢者割合などに応じ、市町個別に交付されていた公費等が、平成30年度以降、**財政運営の仕組みが変わる（納付金方式の導入等）**ことで、一部の市町で公費等の収入が減少し、保険料負担が増加する可能性がある。

このため、制度改革によって被保険者の保険料負担が急増することがないように、以下のとおり重層的な激変緩和措置を実施

①国の激変緩和財源の活用

平成30年度から投入される1,700億円の追加公費のうち300億円を激変緩和財源として確保

※今回の仮算定では250億円分の都道府県配分額を国が提示（愛媛県:約2.8億円）

②県繰入金の活用

県の公費負担（給付費の9%相当）の一部を激変緩和に活用

※激変緩和に活用した分、繰入金本来の用途が減少

③財政安定化基金の活用

②による激変緩和を行った場合、激変緩和用特例基金を活用して繰入金減少分を補填

※全国で300億円規模の積立を予定（平成35年度までの時限措置）

④納付金算定時の調整

市町ごとの納付金を算定する際に、 $\alpha \cdot \beta$ を調整して激変が生じにくい算定を実施

※激変緩和の対象となる市町

県は、医療費の自然増等を考慮した一定割合を定め、市町ごとに平成28年度と平成30年度の1人当たり保険料必要額の丈比べを行い、一定割合を超えて増加する市町に対し、激変緩和措置を実施する。

・今回の仮算定では一定割合を1年当たり2%に設定

一定割合(自然増+α)の設定

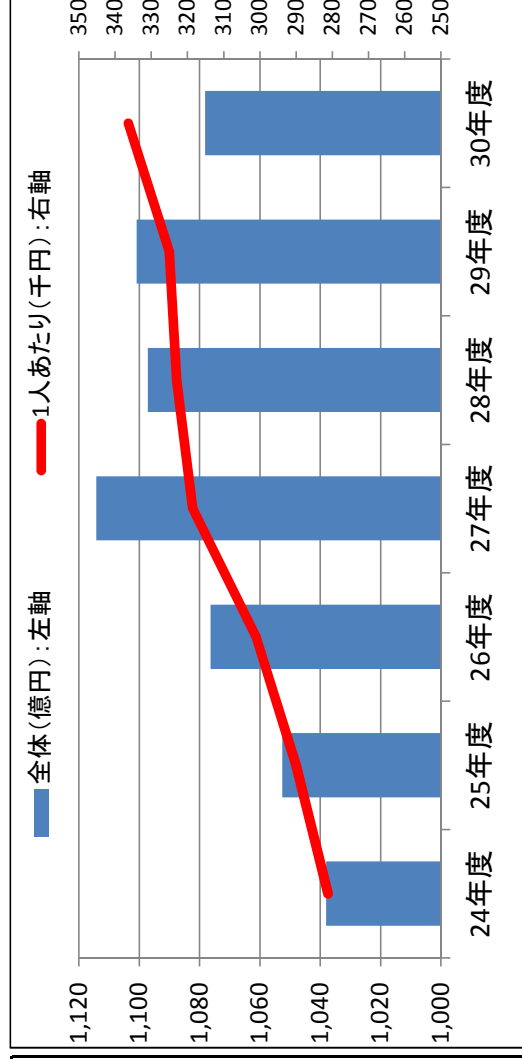
年度	医療給付費 ※1 円	一般被保険者数 (年度平均) 人	1人あたり 円	伸び率 (対前年度比) ※1人あたり額で比較	伸び率の平均値			
					2.05%	1.83%	2.83%	3.02%
24	103,812,219,465 (年報)	369,193	281,187	2.11%				
25	105,263,331,422 (年報)	362,881	290,077	3.16%				
26	107,645,099,305 (年報)	357,520	301,088	3.80%				
27	111,427,555,787 (年報)	349,704	318,634	5.83%				
28	109,725,577,456 (年報)	339,611	323,092	1.40%				
29	110,092,442,689 (推計)	338,641	325,101	0.62%				
30	107,816,441,332 (推計)	320,511	336,389	3.47%				

※1 医療給付費(年報値)は、支払義務額(年報B表(1)(続))ベースで算出。

○医療分については、過去3年の医療給付費の調整後平均伸び率を参考とし、自然増を2.0%とした。

○暫定措置の財源に余裕があることから、αは0%、一定割合を2.0%とし、自然増を超える部分は全て激変緩和措置対象とした。

○後期・介護分も含め、全体分も同様の設定とした。



激変緩和措置による1人あたり保険料必要額の変化（医療・後期・介護計）

市 町	28年度 (円) ①	激変緩和措置なし			激変緩和措置(一定割合2%)		
		30年度 (円) ②	変動額 (円) ②-①	伸び率 (%)	30年度 (円) ②	変動額 (円) ②-①	伸び率 (%)
1 松山市	88,557	89,250	693	0.4	88,924	367	0.2
2 今治市	96,819	91,253	▲ 5,566	▲ 2.8	90,935	▲ 5,884	▲ 3.0
3 宇和島市	97,859	87,216	▲ 10,643	▲ 5.3	86,928	▲ 10,931	▲ 5.4
4 八幡浜市	114,836	104,285	▲ 10,551	▲ 4.5	103,932	▲ 10,904	▲ 4.6
5 新居浜市	93,127	94,398	1,271	0.7	94,067	940	0.5
6 西条市	93,346	93,828	482	0.3	93,493	147	0.1
7 大洲市	98,069	90,924	▲ 7,145	▲ 3.6	90,597	▲ 7,472	▲ 3.7
8 伊予市	87,956	99,320	11,364	6.3	91,148	3,192	1.8
9 四国中央市	97,669	99,740	2,071	1.1	99,380	1,711	0.9
10 西予市	86,333	85,924	▲ 409	▲ 0.2	85,625	▲ 708	▲ 0.4
11 東温市	98,967	93,444	▲ 5,523	▲ 2.8	93,113	▲ 5,854	▲ 2.9
12 上島町	92,872	122,671	29,799	14.9	96,268	3,396	1.8
13 久万高原町	114,481	99,998	▲ 14,483	▲ 6.1	99,656	▲ 14,825	▲ 6.3
14 松前町	90,327	100,523	10,196	5.5	93,651	3,324	1.8
15 砥部町	84,589	90,039	5,450	3.2	87,719	3,130	1.8
16 内子町	101,470	82,897	▲ 18,573	▲ 8.8	82,600	▲ 18,870	▲ 8.9
17 伊方町	100,041	105,060	5,019	2.5	103,744	3,703	1.8
18 鬼北町	90,710	88,105	▲ 2,605	▲ 1.4	87,819	▲ 2,891	▲ 1.6
19 松野町	76,873	79,489	2,616	1.7	79,203	2,330	1.5
20 愛南町	99,705	84,546	▲ 15,159	▲ 7.3	84,265	▲ 15,440	▲ 7.5
愛媛県	93,477	91,883	▲ 1,594	▲ 0.9	91,005	▲ 2,472	▲ 1.3

※伸び率について

28年度から30年度の2ヶ年の伸び率の平方根をとり、単年度の伸び率に補正。一定割合(2%)を超える市町が激変緩和措置の対象となる。

保険料率の変化

激変緩和(一定割合2%)措置後

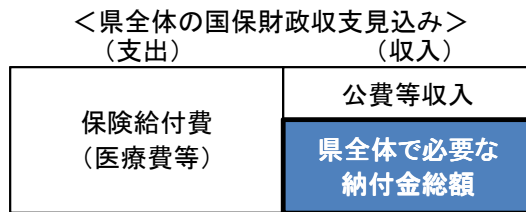
市町	区分	29年度保険料率 (実際の保険料率)				30年度(今回の仮算定結果)								
						市町村標準保険料率				市町村の算定基準に基づく標準保険料率				
		所得割率 (%)	資産割率 (%)	均等割額 (円)	平等割額 (円)	$\beta = \text{標準}$				所得割率 (%)	資産割率 (%)	均等割額 (円)	平等割額 (円)	
1	松山市	医療分	9.40	0.00	23,520	21,840	6.71	0.00	27,109	19,226	8.54	0.00	21,696	15,945
		後期分	3.40	0.00	8,040	6,960	2.44	0.00	9,903	7,023	3.09	0.00	7,968	5,856
		介護分	2.70	0.00	7,320	4,680	2.11	0.00	11,094	5,118	2.76	0.00	8,338	4,077
2	今治市	医療分	7.70	23.90	21,000	25,000	6.38	0.00	25,749	18,261	6.68	20.54	17,728	20,580
		後期分	2.10	6.10	5,500	6,300	2.40	0.00	9,713	6,888	2.51	7.24	6,639	7,413
		介護分	1.60	5.10	5,500	4,600	2.63	0.00	13,819	6,376	2.53	8.32	9,557	7,271
3	宇和島市	医療分	8.30	29.50	25,200	29,200	5.77	0.00	23,304	16,527	5.90	25.20	17,651	15,405
		後期分	2.20	7.00	5,760	7,680	2.40	0.00	9,744	6,910	2.30	10.18	7,406	6,463
		介護分	1.67	6.30	6,120	5,400	2.10	0.00	11,019	5,084	1.71	10.66	8,884	4,915
4	八幡浜市	医療分	7.60	33.00	22,000	27,000	6.59	0.00	26,608	18,870	6.50	30.80	18,636	22,147
		後期分	2.80	12.00	7,300	8,700	2.38	0.00	9,641	6,837	2.51	11.68	6,416	7,402
		介護分	2.00	9.00	9,000	6,700	2.10	0.00	11,028	5,088	1.79	9.46	9,075	5,977
5	新居浜市	医療分	9.10	0.00	23,400	17,700	7.17	0.00	28,951	20,532	8.97	0.00	24,456	16,954
		後期分	2.50	0.00	6,600	4,800	2.52	0.00	10,222	7,249	3.09	0.00	8,645	5,993
		介護分	1.90	0.00	6,600	3,600	2.03	0.00	10,670	4,923	2.47	0.00	8,627	3,814
6	西条市	医療分	8.60	21.00	24,800	19,200	6.91	0.00	27,890	19,779	7.76	17.44	21,796	16,452
		後期分	2.10	5.40	6,600	5,200	2.44	0.00	9,879	7,006	2.57	5.96	7,906	6,073
		介護分	1.90	5.70	7,200	3,800	2.03	0.00	10,676	4,926	2.16	5.98	8,360	3,882
7	大洲市	医療分	8.60	33.00	24,500	25,000	6.93	0.00	27,999	19,857	6.70	31.23	23,657	16,819
		後期分	2.30	10.00	6,200	7,500	2.25	0.00	9,112	6,462	2.10	9.75	7,706	5,478
		介護分	1.90	7.60	7,000	5,500	1.86	0.00	9,754	4,500	1.60	10.23	8,303	3,760
8	伊予市	医療分	10.50	0.00	29,000	28,500	6.41	0.00	25,901	18,369	7.95	0.00	22,450	16,446
		後期分	2.70	0.00	6,550	6,550	2.42	0.00	9,802	6,952	2.84	0.00	8,511	6,235
		介護分	2.10	0.00	6,740	5,560	2.11	0.00	11,076	5,110	2.44	0.00	9,195	4,466
9	四国中央市	医療分	6.85	22.67	24,840	18,720	7.43	0.00	29,999	21,275	6.91	23.02	26,342	18,439
		後期分	2.86	8.59	9,480	7,080	2.31	0.00	9,378	6,651	2.20	7.31	8,246	5,772
		介護分	2.89	9.78	10,800	5,640	2.26	0.00	11,906	5,493	2.18	9.28	10,045	4,493
10	西予市	医療分	7.10	25.00	19,000	21,500	6.38	0.00	25,747	18,260	7.24	22.20	17,354	19,137
		後期分	2.10	13.00	5,500	6,800	2.47	0.00	10,019	7,106	2.62	14.25	6,223	7,500
		介護分	1.90	9.60	6,300	6,800	1.96	0.00	10,313	4,758	1.92	9.05	6,376	5,882
11	東温市	医療分	10.40	0.00	30,400	27,600	6.79	0.00	27,408	19,438	8.40	0.00	22,224	19,887
		後期分	2.80	0.00	8,000	7,900	2.47	0.00	9,998	7,090	2.92	0.00	7,903	7,692
		介護分	2.40	0.00	7,800	4,700	2.10	0.00	11,037	5,092	2.64	0.00	8,753	4,829
12	上島町	医療分	6.10	44.80	17,000	19,000	7.21	0.00	29,117	20,650	7.26	51.13	19,843	21,268
		後期分	2.20	11.20	4,000	5,000	2.13	0.00	8,625	6,117	2.62	11.88	4,580	5,610
		介護分	1.00	10.00	5,000	4,000	2.17	0.00	11,410	5,264	1.59	14.92	9,193	6,472
13	久万高原町	医療分	9.50	62.00	19,000	21,000	8.42	0.00	34,004	24,115	9.94	67.61	20,886	22,899
		後期分	2.70	10.00	7,000	8,000	2.33	0.00	9,455	6,706	2.51	9.75	6,841	7,754
		介護分	0.80	8.70	6,600	3,800	2.13	0.00	11,216	5,174	1.31	12.83	11,467	5,790
14	松前町	医療分	8.10	0.00	21,800	20,800	6.79	0.00	27,427	19,451	8.96	0.00	21,159	20,360
		後期分	3.50	0.00	10,200	9,200	2.40	0.00	9,734	6,903	2.94	0.00	7,901	7,190
		介護分	3.30	0.00	9,600	5,400	2.04	0.00	10,729	4,950	3.24	0.00	8,191	4,267
15	砥部町	医療分	7.20	0.00	24,700	20,000	6.26	0.00	25,276	17,926	7.19	0.00	21,774	15,700
		後期分	3.10	0.00	9,900	7,800	2.42	0.00	9,820	6,964	2.85	0.00	8,473	6,110
		介護分	3.30	0.00	11,800	6,500	1.82	0.00	9,577	4,419	2.19	0.00	8,070	3,734
16	内子町	医療分	6.23	28.10	21,000	16,900	6.18	0.00	24,974	17,711	5.81	26.77	20,060	15,917
		後期分	3.28	14.80	11,100	8,700	2.17	0.00	8,808	6,247	2.20	10.08	7,124	5,507
		介護分	2.78	16.00	11,600	6,400	1.82	0.00	9,589	4,424	1.75	10.74	7,646	3,795
17	伊方町	医療分	7.50	49.00	26,000	31,000	8.23	0.00	33,246	23,578	7.42	48.76	25,278	30,411
		後期分	1.90	9.00	7,200	6,100	2.32	0.00	9,381	6,653	2.13	10.40	8,211	7,020
		介護分	1.83	8.00	7,500	5,300	1.93	0.00	10,138	4,677	1.79	7.70	8,198	5,296
18	鬼北町	医療分	8.50	34.00	20,100	22,400	7.17	0.00	28,961	20,539	8.19	34.53	18,793	20,529
		後期分	2.90	14.00	8,100	6,300	2.35	0.00	9,505	6,741	2.59	13.17	7,004	5,340
		介護分	3.00	12.00	8,900	5,400	1.72	0.00	9,050	4,175	2.09	10.08	6,220	3,304
19	松野町	医療分	8.10	38.80	21,000	23,300	6.45	0.00	26,045	18,471	6.78	30.51	18,247	21,090
		後期分	2.00	9.70	4,600	4,800	2.35	0.00	9,502	6,739	2.41	9.85	7,077	7,379
		介護分	1.90	8.60	7,600	4,300	2.66	0.00	13,982	6,450	2.61	11.48	10,469	6,649
20	愛南町	医療分	7.00	29.60	16,900	23,500	6.20	0.00	25,036	17,755	6.29	27.88	15,550	21,007
		後期分	2.20	7.40	5,100	6,900	2.44	0.00	9,882	7,008	2.57	9.06	6,176	8,118
		介護分	2.10	5.90	5,700	5,400	1.84	0.00	9,680	4,466	2.02	5.73	5,913	4,813

納付金算定のイメージ

市町が県に納める納付金は、県全体で必要となる納付金総額に各市町の所得シェアや被保険者数シェア、医療費水準などを反映させて算定する。

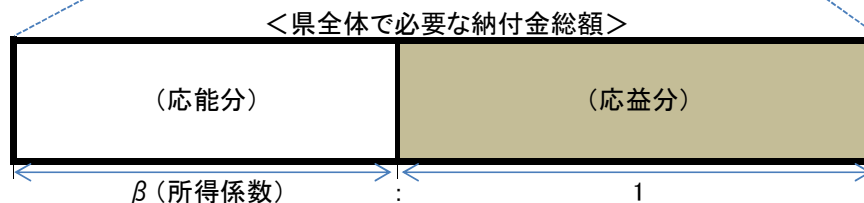
①県全体の納付金算定

医療費等の支出見込みから公費等の収入見込みを控除して必要となる納付金総額を推計



②応能分と応益分に按分

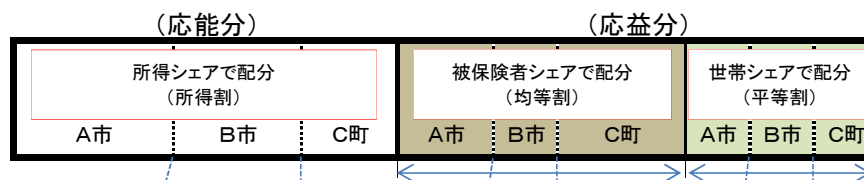
- ・納付金総額を所得に応じて配分する応能分と人数・世帯数に応じて配分する応益分に按分
- ・按分の比率(応能:応益)は、 $\beta : 1$



【論点①】
独自の β を設定するか？
(愛媛の標準 β は約0.7)

③市町ごとの納付金算定 (下図は3方式の場合)

- ・応能分は市町ごとの所得シェア(市町ごとの所得総額/県全体の所得総額)に応じて配分
- ・応益分は市町ごとの被保険者数シェアと世帯数シェアに応じて配分



【論点②】
・2~4方式のいずれを採用か？
【論点③】
・均等割と平等割の比率は？

④市町ごとの医療費水準の反映 (医療費水準を反映しないことも可能)

- ・医療費水準の低い市町の納付金の額は減額
- ・医療費水準の高い市町の納付金の額は増額
- ・医療費指数反映係数($\alpha=0\sim 1$)で医療費水準反映させる程度を調整



[医療費水準の想定]

A市: 医療費水準(低)、B市: 医療費水準(高)、C町: 医療費水準(平均)

【論点④】
・医療費水準の差をどの程度反映させるか？($\alpha=1$ が原則)
【論点⑤】
・急激に保険料が上昇する市町に対する激変緩和の措置基準は？

【参考】

《市町ごとの納付金の算定式》

$$\text{県全体の納付金総額} \times \{1 + \alpha \times (\text{年齢調整後医療費指数} - 1)\} \times (\beta \times \text{所得シェア} + \text{人数シェア}) / (1 + \beta) \times \gamma$$

α (医療費指数反映係数)

納付金算定において、市町の年齢調整後の医療費水準をどの程度反映させるかを調整する係数

- ※ $\alpha = 1$ ・・・年齢調整後の医療費水準を納付金の配分に全て反映
- ※ $\alpha = 0$ ・・・医療費水準を納付金の配分に全く反映させない

β (所得係数)

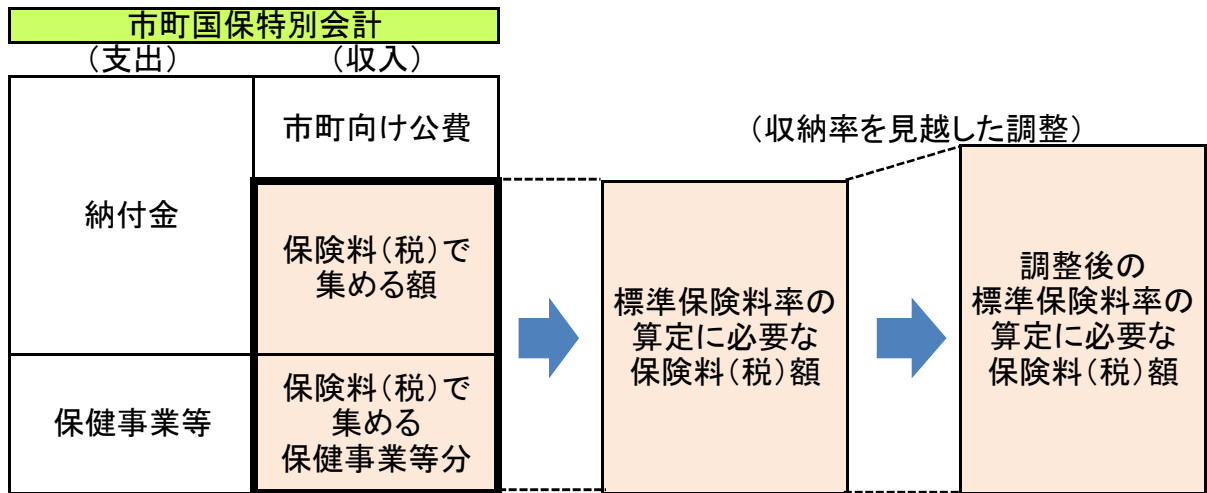
納付金及び標準保険料率の算定において、所得等に応じた配分(応能)と人数等に応じた配分(応益)の割合を調整する係数(応能:応益 = $\beta : 1$)

γ (調整係数)

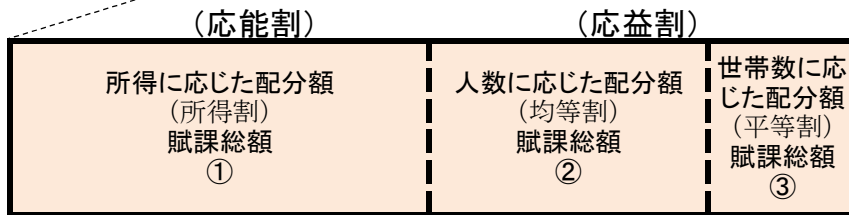
市町ごとの納付金の総額を県全体の納付金総額に合わせるための調整を行う係数

県内統一の標準保険料率設定イメージ

県が算定した納付金の額に市町独自の事業（保健事業や任意給付など）に要する経費や市町に直接交付される公費等の収入を加減し、保険料として集めるべき額を算定、その額を賦課方式に当てはめて、標準保険料率を設定する。



※以下、3方式の場合



《標準保険料率が決定》

所得割率 (①÷所得総額)	均等割額 (②÷被保険者数)	平等割額 (③÷世帯数)
○%	〇〇〇〇円	〇〇〇〇円

(参考)

上記の県内統一の標準保険料率に加え

- ・各市町の現状の算定基準に基づく標準的な保険料率
 - ・全国統一の算定基準に基づく都道府県標準保険料率(都道府県比較)
- についても設定する。